



クラブテーマ

# 春日井ロータリークラブ

2015～2016年度 WEEKLY REPORT

「奉仕・親睦」をよく知ろう  
 「奉仕・親睦」を一人一人のレベルで日々実行しよう  
 「奉仕・親睦」を皆で共有し、祝福しよう  
 たくさんの達成感と充実感を得よう

会長 : 志水ひろみ  
 副会長 : 名畑 豊  
 幹事 : 長谷川英輝  
 会報委員長 : 成瀬 浩康

例会日 : 金曜日 12:30～13:30  
 例会場 : ホテルプラザ勝川  
 事務局 : 春日井市鳥居松町 5-45  
 TEL : (0568) 81-8498  
 FAX : (0568) 82-0265  
 E-mail : Ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp



ニュートン科学館



ニュートンのリンゴの木

## 本日のプログラム

- 司会 青山 博徳君  
 志水ひろみ君
- ・点 鐘
  - ・ROTARY SONG 「日も風も星も」
  - ・今月の歌 「見上げてごらん夜の星を」
  - ・ビジター紹介 志水ひろみ君
  - ・食事・歓談
  - ・委員会報告
  - ・会長挨拶 志水ひろみ君
  - ・夜間例会
  - ・幹事報告 長谷川英輝君
  - ・点 鐘 志水ひろみ君

## 今月の歌

見上げてごらん夜の星を  
 見上げてごらん 夜の星を  
 小さな星の 小さな光が  
 ささやかな幸せを うたつてる

## 先週の記録

### 会長挨拶 会長 志水ひろみ君

本日の卓話は杉田明子さんです。社本プログラム委員長よりプロフィールが紹介されますが、杉田さんは名古屋空港グランドスタッフ 輸出貨物の税関通関システム 導入担当として活躍されておられましたとかその後、国際航空貨物ビルトアッププランナーとして10年以上のキャリアをお持ちだそうです。本日は、収納、かたづけ技術をご講演していただけたら、大変楽しみにしております。私も整理・整頓・清潔・清掃が大好きで、会社でも自宅でもあるところにあるものがないと、落ち着きません。目視で必要なものが確認できる、そのような収納が基本になっております。

### 基本的教育と識字率向上月間

例会予定	10月2日(金)	10月9日(金)	10月16日(金)	10月24日25日
	理事役員会 11:30 祝福 卓話米山奨学学生	補助金事業 16:30 ホテルプラザ勝川 交通安全チラシ配り	卓話 マリー・カンタグリル氏	10月23日(金)は WFFに変更

ホームページ : <http://www.kasugai-rc.jp>

## 2015年9月25日(金)第2248回(9月第4例会)

なので、我が家の衣服は季節の入れ替えがありません。すべて、ウォークインクローゼットに収まっています。そうすることにより、必要でない品の衝動買いがありません。また、必要な物が分かっていますので、その物との出会いを逃さないと自負しているのですが、本日はそれらのスキルアップになれば大変期待をしています。

幹事報告 幹事 長谷川英輝君

### クラブ行事

: 10月9日(金) 例会変更にて、勝川駅で交通安全チラシ配りを行います。参加者には別途ご連絡しますが、ホテルプラザ勝川 16:30 集合です。

### 地区行事

: 10月31日(土) 2015-16年度地区指導者育成セミナー ウェスティンキャッスル 13:30～出席者は、加藤久仁明直前会長、成瀬浩康副幹事

### 次週予告

9月25日(金) 18時～ プラザ勝川にて夜間例会(受付17時半～)

## ◎例会変更の案内

名古屋守山 RC	10月7日(水) 10月7日(水) 18:00 夜間例会の為 マリオットアジアホテル
瀬戸北 RC	10月6日(火) 10月6日(火) 職場例会の為(株)ナリタテクノ
名古屋東 RC	10月5日(月) 10月6日(火) 18:00 夜間例会の為 八勝館
岡崎南 RC	10月6日(火) 10月6日(火) 18:30 ガバナー公式訪問の為 岡崎ニューグランドホテル

E-mail : [ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp](mailto:ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp)

## 出席報告

委員長 古屋 義夫君

会員 59名	欠席 21名	出席率 64.4%
先々週の修正出席	欠席 0名	出席率 100%

## ニコボックス報告

委員長 岡嶋 良樹君

○藪下さん会場進行デビューがんばって！！

青山 博徳君

○小川さんいろいろありがとうございます。

蓮野 美廣君

○杉田明子さんをお迎えして。

社本 太郎君

○杉田明子さんの卓話楽しみにしています。

古屋 義夫君

○よろしくお願ひいたします。

小野寺 誠君

○いつも有難うございます。

大橋 省吾君

○卓話を楽しみにしております。

和田 了司君

○卓話を楽しみに。

梅村 守君 岡田 義邦君 加藤 茂君

風岡 保広君 加藤 宗生君 貴田 永克君

川瀬 治通君 近藤 秀樹君 近藤 太門君

神田 寛司君 志水ひろみ君 清水 勲君

芝田 貴之君 社本 太郎君 宅間 秀順君

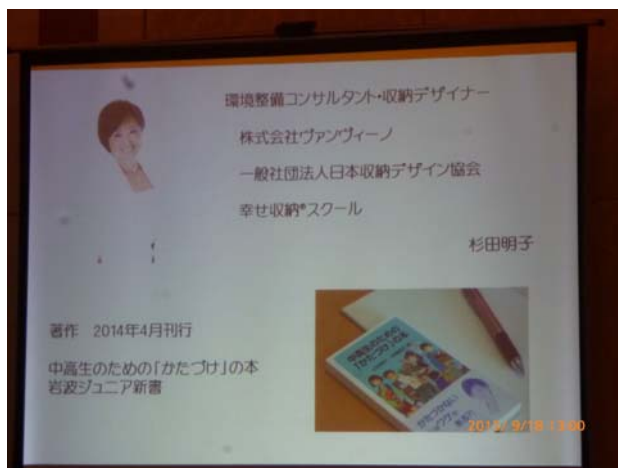
峠 テル子君 名畑 豊君 成瀬 浩康君

早川 八郎君 長谷川英輝君 林 憲正君

場々大刀雄君 松尾 隆徳君 屋嘉比良夫君

山田 治君 藪下 尚武君

○御協力、ありがとうございます。岡嶋 良樹君



## 卓話 杉田 明子氏 社員が変わる、会社が変わる、強い会社の片付け術

はじめまして。環境整備コンサルタント、収納デザイナーの杉田明子です。

私は今現在、(株)ヴァンヴィーノ、一般社団法人日本収納デザイン協会、幸せ収納®スクールの代表をしております。仕事の内容といたしましては、片付かないことで悩んでいる方々のお宅に訪問し、片付けがご自身でできるよう指導させていただいたり、スクール生さんへの指導、また法人様にも

訪問し、片付かないことによる空間、時間、業務の無駄を省くお手伝いをさせていただいております。

前職は国際航空貨物ビルドアッププランナーとして、名古屋空港で勤務をしておりました。航空機の狭い空間を様々な制限をクリアしながら、航空貨物搭載プランを立てる仕事です。13年間同じ仕事を続け、空間をコントロールする技術『空間認識力』が自然と身に付いていました。その力は現在仕事をするにあたって大変役立っております。短い時間で空間を認識し、有効活用する答えを導き出すことができます。そこに暮らす方々や、働く方々にはなかなか見えにくい『無駄』が見えるのです。

さて、片付けには基本があります。

まずは、みなさんで片付いている状態というのを共有したいと思います。片付いている状態の認識が違くと無駄な争い事がおきてしまうことがあります。例えば、【綺麗】をゴールにしてしまうと、私は綺麗にしたのに、他の人は綺麗だと思ってくれない。など、感性の違いで片付いている、片付いていないという認識が変わってきてしまいます。誰が見ても片付いている状態というのを目指してもらいたいと思います。

私たちの日常生活は【分かれている】ということで支えられていることにお気づきでしょうか？例えばスーパーマーケット、すべての商品が適切に分かれていますね。ところが、様々な商品が混ざって売られていたらどうでしょう？探すことに労を費やして、お母さんが買い物に出たまま3時間帰って来ない。というようなことが毎日起こって来ます。

分かれているということは、分かるということです。【分ける=分かる】です。

みなさんのお宅、職場を思い出してみてください。乱れていると思う場所は必ず物が混ざっている場所ではないでしょうか？まずは、すべての物が適切に分かれているということ。

これを片付いている状態と認識してください。

さらには、片付けにも技術が必要です。片付けなんてしつけの問題でしょうか？できて当たり前じゃないの？と思われる方、大変多いのではないのでしょうか。

では、どうでしょう？皆さん、今まで学校で片付けを習ったことがある方いますか？いませんよね。教えられていないことをなぜできて当たり前だと思うのでしょうか？家の中には平均1万点の物があるとされています。その一万点の物をなんの技術も持たずにコントロールするというのは、非常に難しいことです。

まずは、片付けの型をつける。型付けをしてもらいたいと思います。スポーツや武道にも型がありますね。同じように片付けの型があります。この型がつくとどうなるか？

ご自分のお宅や、仕事場が整い、生活や、仕事の方向性、さらには人生の方向性を見出すことができる【方付け】ができるようになります。みなさまにはぜひこの【方付け】まで目指していただきたいと思います。

さて、いまの日本には片付け＝捨てること、捨てる＝良い事、捨てられない＝悪い事というような風潮が流れています。果たしてそれは本当でしょうか？

私が日本全国各地で講演会をさせていただくときに質問することがあります。

「捨てる事に抵抗のない方どれくらいいますか？」

手が上がるのはどこの会場でもひとりかふたり、数えられる程度の方々です。

ということは、日本人の9割前後の方々も捨てることに何かしらの抵抗があります。

抵抗があることをしようとしたとき、人はどのような気持ちになるでしょう？

大抵の方は嫌になります。片付け＝捨てること＝嫌なこととなってしまっただけでは続けられなくなってしまいうのも当然です。

日本には古くから八百万の神という教えがあります。山、川、大地、風、すべてに命が宿っている、そして物にも命があるという考え方から日本独自の「もったいない」という言葉が生まれたという説があります。江戸時代は究極の循環社会が実現された人類最初で最後の時代だと言われています。モノをつくり、使い切り、土に還す。究極のエコ社会です。

そんな【もったいない】という美しい精神性を持った日本人に合った片付けとはどんな片付けでしょう？捨てる片付け？いいえ、【使う片付け】です。物を徹底的に使い倒し、最後まで使い切った爽快感を経験したことがありますか？捨てられないと悩む時間、どうやったらしまえる？という時間を、どうやったら使える？と真剣に考える時間に変えましょう。

この物余りの時代をよりよく生きるためには、片付けの技術が必要です。

その技術とは、物を使う技術、そして物を選ぶ技術です。

幸せ収納メソッドは、片付けを通してこのふたつの技術を飛躍的に伸ばすことができます。

会社でも同じです。物を選ぶことを通して、仕事にとってより良い選択の技術を、物を使うことを通して、時間や組織を使う技術を養います。

ぜひ、このような考え方で片付けに取り組んでみてください。

今まで苦痛でしかなかった片付けが変わります。どれだけやれと言っても実践できなかつた環境整備が実現されることで、社員が変わります、会社が変わります、そして強い会社になっていきます。



卓話 杉田 明子氏

